

第1回SRユーザー交流会開催

7月8日に羽田エクセルホテル東急に於いて、セイフティレコーダを導入された企業27社、35名の方々にお集まりいただき、第1回ユーザー交流会が開催されました。多数ご来場頂き、またご協力賜りましてありがとうございました。

交流会では新製品の紹介に続き、導入されている各社のSR活用法とその効果のご紹介がありました。

- ・アサヒロジスティクス株式会社「安全管理を全車に徹底し効果絶大」(今回、1面に特集)
- ・ダイワ運輸株式会社「映像はヒヤリハットの証人・事故激減」
- ・池畑運送株式会社「運行管理を徹底し社内の仕組み確立」

新しいツールを他の会社がどのように効果的に活用しているのか各社の皆様は興味津々で、講演後は活発な質疑応答が行われました。



NEXT 次回のSRニュース

去る7月28日、羽田エクセルホテル東急に於いて、新製品「SRVideo」(エスアール・ビデオ)の発表会が開催されました。

新製品「SRVideo」は、従来のSR機能とDVR機能をワンボックスに収納し、メモリスティックPRO1枚でデータを記録することができます。運転診断データや、危険挙動の動画の他に、日常運転の静止画像も記録する新たな機能をプラスしました。

本体は780gと大変軽く、従来より低価格でお求めいただけます。次号ではSRVideoの特徴および詳細をお知らせいたします。



どうぞご期待ください!

SRNEWSに関するお問い合わせはこちらまで

発行:株式会社データ・テック **datatec**

〒144-0052 東京都大田区蒲田4-42-12新生ビル TEL:03-5703-7041 FAX:03-5703-7043
http://www.datatec.co.jp 担当:山田(sales@datatec.co.jp)

SRNEWS

VOL.22

やさしい運転
Safety Recorder
株式会社データ・テック

8月号 2005年8月10日

ユーザー探訪

アサヒロジスティクス株式会社
安全品質管理部 部長 下田哲雄様
「セイフティレコーダ活用のポイント」
～7月8日開催、第1回ユーザー交流会講演より～



■SLとSRの相乗効果

当社では、昨年11月より会社独自のライセンス等級制度(1級、2級、3級)を導入致しました。SL(アサヒセイフティライセンス)と呼ばれるこのライセンスは、運転歴により、目標とする級が分かれています。またほぼ同時にSR(セイフティレコーダ)平均点ランキング制度を立ち上げ、1級ならば80点台、2級は70点台、3級は60点台という目標を掲げました。この2つの目標設定が安全に対する取組みへの相乗効果をもたらし、ドライバーの意識改革につながりました。

■導入1ヶ月キャンペーン

昨年の暮れに、全社へのSR導入直後に高得点のドライバーへ賞品を授与するキャンペーンを行いました。これにより、ドライバーの意識がグッと上がりました。その時の全社のSR平均点は約62点、SR導入直後としては、まずまずの滑り出しだったと思います。しかしその時点で、全ドライバー470名中、60点未満のドライバーが250名もいた事も事実です。

■平均点アップへの工夫

拠点对抗やチーム対抗で、平均点を競争するようにして、チーム全体のレベルを上げるという取組みを行いました。また、平均80~90点台の個々のドライバーへの報奨金支給をはじめ、平均点の低いドライバーも平均点の上がり幅の大きさで評価するなど、様々な工夫を重ねてきています。

■自主性と意識の改革

次第にドライバーの意識も向上して来ましたが、当初の3ヶ月間はSRの平均点に大きな変化は見られませんでした。しかし平均点の低いドライバーへの添乗指導、カウンセリングを行ううちに、ドライバー同士が進んで意見交換をするようになり、徐々にSRの平均点が上がりました。SR平均点という手段を通して、仲間同士の会話から自分の運転を見直すというドライバー自身の自主性、意識の改革が進んできていると感じています。

■事故の減少と燃費削減

6月末現在、全ドライバーのSR平均点は約74点になり、60点未満のドライバーは全549名中101名にまで減りました。事故件数は昨年比で6月は10件も減り、営業所によっては半減しています。また燃費も、昨年対比5%減を達成できました。

下期からは、人事考課、昇給など、評価にも反映させる予定になっており、更に新たな目標達成を目指していきたいと思っています。

SR平均点拠点順位表 全社平均点 70.69

拠点名	3月	4月	前月比	5月
1 有明	75.95	81.12	+5.33	86.45
2 座間	80.86	81.86	+0.08	81.94
3 長沼	61.26	66.14	+14.95	81.09
4 横浜	75.38	74.92	+2.05	76.97
5 狭山物流	64.54	67.13	+7.92	75.05

アサヒロジスティクス社 狭山物流センター訪問

～小泉センター長に直撃インタビュー～

今日は「現場の声」ということで、
狭山チルドセンターの小泉センター長にお話を伺いました。



ドライバーの方の点数はこの6ヶ月間、毎日見ているのですか？

毎日見えています。SRのパソコンの傍にいる時は、ちょっとした声かけをしています。また、点数が上がらないドライバーから相談を受けたり、同乗指導をしたりしています。ビックリするくらい点数が上がった人もいますよ。

点数をあげるのにどういう事にご苦労をされたのでしょうか？

ドライバーは、最初はあまり意欲的ではありませんでしたが、「**点数とるためのSRではない、安全運転のためのSRだ**」という事を、通達や朝礼で繰り返し伝えました。また点数を上げるためには個人指導しかないということで、点数の悪い人には、多い時は4、5回も同乗指導をしたり、点数の良い仲間の車と一緒に乗ってもらってスムーズな運転を実感してもらいました。また自分も実際にSRをつけて運転を試みましたが、意識して運転した時は85点だったのに、少し急いで運転した時は60点台だったので、そのデータを話したりしました。最近はドライバー同士がSRについて話しをすることが多いので、その中に入って一緒にディスカッションする等、コミュニケーションのツールにもなっています。

高得点が、実際に安全に直結するのでしょうか？

やっぱり安全だと思います。今までは社速のスピードだけを意識していたのですが、車間をとったり、曲がる時もゆっくりなので、運転にゆとりがでてくるんですね。

SR平均点が上がったことで具体的にメリットがあったのでしょうか？

昨今の原油高ですが、**燃費が昨年比5%減**になり、金額にすると、全社で月に200万円もの節約になりました。リッター当たり、保冷車でも3kmは走るようになってきています。その上、**積荷の破損が激減**しました。

以前はどうしても積荷のダンボールが傷ついてしまうのでラップを巻いていたのですが、今ではゴムバンドでとめるだけでよくなりました。ラップ代も大変でしたが、それをはがす際、お客様のところで大量のゴミとなっていたのが改善され、お客様にもとても喜ばれています。



小泉義晶センター長

いいことづくめですね。

配達時間は遅くなったりしないのでしょうか？

実際に、配達の時間に影響はありません。焦って行っても**ゆっくり行っても時間はあまり変わらない**のですね。それが次第にドライバーに分かってもらえるようになりました。こちらには、毎日100点のドライバーがいますよ。今度社長表彰を受けることになりました。

すごいですね！

点数はどのように毎日まとめていらっしゃるのでしょうか？

毎日出して、ドライバーが見える場所に置いてます。ドライバーもこのようにまとめてあげることによって、自分が今どういう位置にいるのかがわかり、張り合いを感じてもらえるんですね。そうすると、もっと点数を上げたいという相談も来るようになり、アドバイスがしやすくなります。

でも、1点2点にこだわる必要はないという事も同時に伝えていきます。

意識した運転をするようになると高得点を出せるようになり、高得点を取り続けると運転にゆとりがでてきます。単調な毎日になりがちですが、SRの点数をいい意味での励みにしてほしいと思っています。

ドライバーさん達の声

次に、ドライバーの方々にインタビューさせていただきました

最初にSRが入った時は、抵抗はあったのでしょうか？

以前から色々と車載機が付いていたのであまり抵抗はなかったです。でもSRは細かな運転状況がでてしまうので、気を遣いました。



ドライバー 三澤計介さん

実際にSRの平均点を上げるには、具体的にはどういう運転をなさっていますか？

まず、急ハンドル、急ブレーキをしないで、静かに加速し、ゆっくり回り、静かに止まる様にします。でも当然ですが、飛び出しなんかの時は急ブレーキを踏みます。前が赤信号だったら、エンジンブレーキや、アクセルを離した惰性走行しながら止まるということもします。また、ギアチェンジの衝撃を少なくするために、出来るだけ低速回転の時にギアチェンジするようにしたら、点数が上がったので、それが習慣になってきています。



ドライバー 須藤浩さん

ゆっくり走る事で、何か困ることはあるのでしょうか？

車間をあけて運転している時に割り込まれるのが、特に土日に多く困ります。「右折しようとして待っているときに、パッシングして「どうぞ」と言ってくれる車がありますが、気持ちは早く横切ってあげたいのに、SRの事を考えるとゆっくりいかなければならないのがちょっと……。



ドライバー 島田龍光さん

でもそれでいわゆるサンキュー事故が防げるわけですね……。皆さん、点数は気にしますか？

気にしていませんが、下がないようにしたいとは思っています……あれっ、気にしてるって事かな？

燃費は良くなっているという事ですが、その事で会社に貢献しているという実感はあるのでしょうか？

もちろんです。実際に燃費は良くなっていると感じています。点数をあげるためにギアを低速で変えるくせがついたせいだと思います。

いろいろとありがとうございました

須藤浩様、三澤計介様、島田龍光様、3名のドライバーの方にお話を伺いました

ドライバー講習会

ちょうどこの日は、ドライバー講習会が行われており、常日頃から「SRの点数は心の鏡」とおっしゃっている安全品質管理部の下田部長が、心の大切さについてお話されていました。SRの平均点が下がってきている時というのは、不思議とドライバーさんに悩みがあったりするそうです。SRだけに頼ることなく、こうした講習も毎月開かれているそうです。

